

真理子先生の

女性のミカタ

子宮頸がん予防

真理子レディースクリニック
院長

伊藤 真理子

●(いとうまりこ)1986年山形大学
医学部卒業。山大病院、篠田総合
病院を経て2005年6月に真理子レ
ディースクリニックを開業。日本産科
婦人科学会認定産婦人科専門医。



今回は、年間10000
0人が罹患し3000人
近くの命に係わる子宮頸
がんについて解説してい
きましょう。

原因はHPV感染

子宮頸がんは原因が
はっきり分かっています。
それは性交渉でヒト

子宮頸がん予防

真理子レディースクリニック
院長

伊藤 真理子

●(いとうまりこ)1986年山形大学
医学部卒業。山大病院、篠田総合
病院を経て2005年6月に真理子レ
ディースクリニックを開業。日本産科
婦人科学会認定産婦人科専門医。



今回は、年間10000
0人が罹患し3000人
近くの命に係わる子宮頸
がんについて解説してい
きましょう。

原因はHPV感染

子宮頸がんは原因が
はっきり分かっています。
それは性交渉でヒト

パピローマウイルス(H
PV)に感染することで
す。ただHPVはありふ
れたウイルスで、一生の
うち80%以上の女性が一
度は感染すると言われて
います。感染しても何も
起こらないことも多く、
自然に消えてくれること
も多いです。
200種類以上あるH

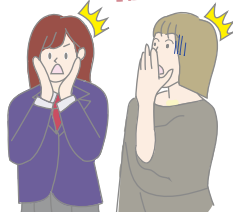
PVの中で、子宮頸がん
の原因になるハイリスク
型HPVは14種類。特に
16型、18型は進行が早
く、子宮頸がんの原因の
70%以上を占めています。

ワクチンで予防できます

HPVに感染した場合
の治療薬はありません
が、HPV感染を予防す
るワクチンがあります。
ワクチン接種は世界の
潮流でしたが、日本では
接種が積極的に勧奨され
なかった期間が9年ほど
あったほか、20歳代の子
宮頸がん受診率が25%ほ
どで、若い方の子宮頸が
んが急増しているのが気

になるところです。

私たちががんになる
可能性が!?



キャッチアップ制度も

HPV感染を予防し、
子宮頸がんを減らすため
にはやはりワクチン接種
が最優先されます。積極
勧奨が見送られた9年間
のブランクを埋めるため
のキャッチアップ制度も
導入されています。
また定期的な子宮頸が
ん検査もお忘れなく。子
宮頸がんになる前の前が
ん状態、さらにその前の

異変を見つけることもで
きます。

子宮と命を守るために

子宮頸がんの予防に
は、まずは原因だと分
かっているHPVを予防
することから始めましょ
う。大切な子宮や命を守
るためにも。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●受付時間

【平日】午前/8時30分～12時

午後/14時～17時

【木曜】午前/8時30分～11時

【土曜】午前/8時～11時

●休診日

日・祝祭日

木・土曜日は午後休診となります。

